

(様式第 11 号)

活 動 計 画 書

令和〇年〇月〇日策定

〇年〇月〇日 第〇回改定

(実施途中で計画変更した場合は改定日をいれて変更申請書と共に再提出)

〇〇の森保全の会

里山林活性化による多面的機能発揮対策交付金に係る活動計画書

1. 活動組織名 **活動組織の名称を記載**

〇〇の森保全の会

※複業実践型を行う場合：(法人番号)

※ 複業実践型に取り組む場合は、法人番号も記載すること（番号がない場合は空欄で可）。

2. 活動組織の事務所の所在地

活動組織の所在地・連絡先を記載。Web ページ等はある場合に記載。

住所： 〒 京都府〇〇町〇〇 1-2-1

TEL：〇〇〇-△△△-□□□□

FAX：〇〇〇-△△△-□□□□

メールアドレス：〇〇〇@〇〇〇〇

3. 取組の背景

〇〇市〇〇地区は・・により、集落で先祖代々守り続けている〇〇の森が荒廃してきた。このため、地域住民（〇人）と NPO 法人〇が「〇〇の森保全の会」を設立し、〇〇の森を整備し、間伐体験や炭焼き体験を開催し、地域住民と都市住民の絆の森とし、地域の活性化を進める。

4. 取組の概要

〇地区にある〇を中心とした広葉樹林について〇〇の森保全の会メンバーによる雑草木の刈払い、集積、処理場までの運搬を実施。整備後に〇を植林、遊歩道の整備（一部急峻フィールドについては作業委託を実施。0.5ha）。また、一部のフィールドにおける孟宗竹の除去を実施し、チップパーによる処理後遊歩道へ敷設する。対象林地内に炭焼き小屋を整備し、フィールド内の 0.5ha から炭及び薪ストーブ用の原木の間伐を行い（教育・研修活動タイプと組み合わせて環境教育、間伐体験を実施）、地域内外の住民への炭焼き体験も実施する。

5. 構成員の概要

※構成員の居住地（どのような地域から参加しているか）、職種、経歴、所属団体等、構成員の多様性がわかるように記載すること。

〇〇の森保全の会は、主に〇〇市〇〇地区の住民が集まった組織であり、構成員 40 名のうち 35 名が同地区の住民である。その他の構成員は〇〇市内他地区が 4 名、県外 1 名となっている。本活動組織は地域の住民を核に作られた組織であるため職種は林業、自営業、事務等様々である。所属団体については、森林関係の NPO に所属している者が 10 名、環境保全に関する市民団体 8 名などからなる。

6. 年度別スケジュール

区分	○年度	○年度	○年度
1. 主たる活動			
A-1. 地域活動型 (森林資源活用)	1.0ha	1.0ha	ha
資源活用の取組	伐採木で薪を生 産販売	歩道の階段工や土 留工資材に活用	伐採した枝葉や落ち 葉を堆肥に活用
A-2. 地域活動型 (竹林資源活用)	2.0ha	2.0ha	2.0ha
資源活用の取組	伐採竹で竹炭生産 販売、支柱等の農業 用資材に活用	伐採竹をチップ化 し、作業道の土壌改 良剤に活用	伐採竹をチップ化 し、林内にまき、筍の 育成を図る
B. 複業実践型	ha	ha	ha
資源活用の数値目標 (搬出目標 (間伐率等))	本/ha (間伐率 %)	本/ha (間伐率 %)	本/ha (間伐率 %)
※ 間伐等(除伐・枝打ちを含 む。)実施面積 (A+B)	ha	ha	ha
2. 従たる活動			
C. 機能強化	m ha	m ha	m ha
D. 関係人口創出・維持			
E. 資機材等整備	薪割機 1 台 チェーンソー 2 台		
F. 活動推進費	現況調査、計画作 成		

※1 A. 地域活動型は、年度毎に作業を行う面積と資源活用の実施内容を記載する。

※2 B. 複業実践型は、年度毎に作業を行う面積と「搬出目標 (間伐率)」欄に、各年度ごとの搬出量の目標を記載する (単位は適宜修正して差し支えない)。

※3 C. 機能強化の欄に記載する値のうち、延長には、森林調査・見回りを含めない。また、面積は、併せて行うA. 地域活動型及びB. 複業実践型の対象森林の面積の合計とする。

※4 D. 関係人口創出・維持は、年度毎の実施内容を記載する。

※5 E. 資機材等整備は、年度毎に整備する資機材を記載する。

※6 F. 活動推進費は、年度毎の実施内容を記載する。

7. 活動の目標と活動結果を測定するためのモニタリング調査方法

対象森林	区分	目標	モニタリング調査方法
	A-1	〇〇な状態にしたい	円形調査区において木の本数を調査する
	A-2	侵入竹を除去したい	方形調査区において竹の本数を調査する

※1 目標の設定及びモニタリング調査方法の記載については、別に定めるガイドラインを参考とすること。

※2 対象となる森林が複数あり、それぞれの森林で異なるモニタリング調査を行う場合は、それぞれ行を分けて記載すること。

8. 年度別実施する安全講習等の名称及び内容

年度	講習の名称	講習の内容
年度	安全講習	安全装備、作業についての講習
年度	安全講習 機械の取扱講習	安全装備、作業についての講習 チェーンソー等の取扱講習
年度	安全講習 森林施業技術講習	安全装備、作業についての講習 間伐や搬出方法等の講習

9. 安全のために装備する物品及び傷害保険の名称

ヘルメット、防護服（チェーンソー取扱者）

加入する傷害保険：●●保険株式会社の森林ボランティア保険

10. 4年目以降の活動（森林管理）計画

11. 活動の継続のための取組

※ 本交付金の交付が終了した後も活動を継続するために取り組んでいること（活動に参加する者や活動に必要な経費の確保の取組等）を記載すること。

12. その他

(1) 収入

※ 会費、林産物収入など里山林活性化による多面的機能発揮対策交付金以外の収入を記載すること。

(2) 委託

活動計画における取組についての委託			
	年度	年度	年度
委託機関名	〇〇森林組合（予定）		
連絡先 （電話番号等）	〇〇〇〇－〇〇－〇〇〇 〇		
委託時期	〇年〇月		
委託内容 （委託する区域 の林小班、委託 業務の内容（面 積、作業の内容） 等）	〇〇市△△〇番地（〇 ha） 太い木や急峻な地の刈払 い や間伐など、活動組織メ ン バーでは難しい作業を一 部 委託。（予定）		
委託金額 （予定額）	〇〇〇〇円		

※活動計画に記載した取り組みを外部委託する場合は記載すること。

※ 活動全てを委託することはできない。

1 3. 計画図（協定書における協定の対象となる森林の計画図）及び現地の写真

別紙参照

- ※ 1 対象森林の森林計画図を添付すること。森林計画図が存在しない場合又は入手が困難な場合は、対象森林の位置及び面積が分かる縮尺 5,000 分の 1 以上の図面を添付すること。
- ※ 2 添付する図面には、森林経営計画が策定されている区域を明示した上で、年度毎に計画している取組の範囲を図示すること。
- ※ 3 機能強化を行う場合は、対象となる路網や鳥獣被害防止柵の位置、延長を図示すること。
- ※ 4 現地の写真は、取組を行う対象森林の現況（遠景、近景）がわかる写真を添付すること。

計画書変更について

※活動計画書を変更（改訂）した場合、下記に変更内容、変更理由を記入すること
（変更内容）

(変更理由)